

大ナゴヤ大学

2015年度活動報告書
ANNUAL REPORT 2015

ナゴヤを面白がる人が増えていく。 街中がキャンパスの「みんなの大学」。

私たちの住む街をもっと「面白がる」人を増やしたい。

そんな視点でまた1年、街の魅力的なヒトモノコトを見つけ、街中を教室にして学びの場をつくってきました。

新しい生徒さん、先生との新しい出会いがあり、街を面白がる人のつながりは広がり続けています。

授業での経験をきっかけのひとつとして、

地元の街づくりに関わり始めた人や、自分でコトを起こし始めた人もいます。

生徒さん、ボラスタさんの手によって、街を面白がる動きが大ナゴヤ大学の外にも広がっているのです。

2015年度は、サポータープロジェクトの実施など、自由な学びを必要とする人たちの手で、

この場所が続いていくためのチャレンジもしました。

街の魅力にワクワクできるこの場を、みんなでつないでいけるように。

大ナゴヤ大学は、いつも街にある学びの場であり続けます。

誰でも先生、誰でも生徒。 教材は街じゅうにあふれている。

大ナゴヤ大学に校舎ありません。

魅力的なヒトモノコトがある場所が教室です。

伝統工芸、地元食材、祭り、面白いスポット、
すごい技術や知識をもつ人、暮らし方、働き方など、
さまざまなものを授業で取り上げています。
瀬戸、半田、あま、下山、美濃加茂、恵那など、
フィールドは東海圏各地に広がっています。

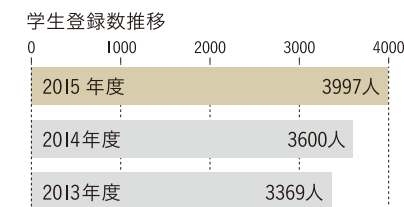
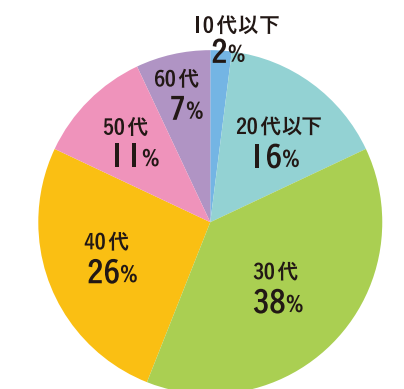
「授業」を「きっかけ」に 暮らしや生き方が変わるかも。

大ナゴヤ大学の授業は、知識を学ぶだけでなく、
自分の「暮らし」や「生き方」を見つめ直す場にもなります。
先生の言葉が胸に響き、参加者の多様な価値観が交わり、
今の自分自身を顧みてみる。
人や街の魅力と出会う経験が糧となって、
ライフスタイルが変わった人、新しい挑戦を始めた人もいます。
そんな人の変化を、街の変化へとつなげたい。

「やってみたい」から始まる 大ナゴヤ大学とあなたの関係。

生徒として参加する。
ボラスタとして活動を手伝う。
ゼミや部活動など、特定のテーマを持つ活動に関わる。
授業コーディネーターとして授業をつくる。
サポーターとして資金面で活動を支える。
「やってみたい」という気持ちひとつから、
アイデアも実行力も資金も、フラットな関係のもとに、
みんなで創り上げていく学びの場を目指しています。
あなたらしく、大ナゴヤ大学に関わってもらえたら嬉しいです。

誰でも生徒
学生登録数 **3997**人



年間授業総数 **45**コマ
(2014年度:35コマ、2013年度:32コマ)

のべ
授業参加者数 **773**人
(2014年度:588人、2013年度:464人)

街じゅうがキャンパス
教室 **241**カ所

街にいるあの人！
先生 **373**人

「面白がる視点」で授業づくり
授業コーディネーター **49**人

垣根なく集まっています
ボラスタ **193**人

※データは2016年3月末現在のものです。

スピード感と直感と。
～ボートレース、その奥深き世界～

知多半島、スポーツ

2015.7.12 Sun 11:00～16:00 @ボートレースとこなめ

キラキラ輝く水面を颯爽と駆け抜けるボート。教室は、常滑で半世紀の時を刻む「ボートレースとこなめ」。関係者しか入れない競艇場の裏側に入り、現役ボートレーサーの方から、ボートの乗り方やターンの仕方を教わりました。そして、後半には実際に賭けてみる体験も。予想が当たるかハラハラと熱中しながら競艇を学びました。

知多半島は何か魅力ですか？何をテーマに大ナゴヤ大学で授業にしますか？と聞かれたら、迷わず「人」ですと答えます。そんな知多半島の「人」を媒介し公営ギャンブルの魅力伝えたい。そんな想いでつくった授業です。（授業コーディネーター 芳金秀展）



少女漫画偏愛主義
～女の子はいつだって「魔法」が大好き！～

カルチャー

2015.9.12 Sat 9:45～11:30 @ヌクヌク鶴舞公園

授業の先生は、普段は栄にある「オアシス21」で働く、少女漫画が大好きな乙女なおじさま(笑)の兼岩孝さん。読み込まれた愛憎書を片手に、少女漫画歴史と魅力、そして、漫画と共に歩んできた人生を語ってくださいました。キラキラと目を輝かせて好きなものを語る先生に、生徒たちの言葉にも自然と力が入り、熱い授業になりました。

兼岩さんにお会いした時の印象はとても衝撃的でした。「街づくり」を考える会「お堅い会」の懇親会の自己紹介で、少女漫画に対する愛情を熱く語っていたのです。次の授業の先生をお願いするなら絶対にこの方しかない!と思いました。（授業コーディネーター 青木奈美）



商店街にLet's go!
ぼくらはオツカイたんけん隊

コミュニケーション

2015.9.12 Sat 14:00～16:00 @円頓寺商店街

生徒は4～7歳のカワイイ子どもたち。先生は円頓寺商店街で暮らす人たち。チビッコだけでオツカイ体験してみようという授業でした。グループごとに作戦を立てて、ドキドキと手をつないで街へ。商店街の人に質問して、助けてもらって、ミッションクリアを目指しました。冒険を終えたみんなは、少し大人になれたみたいです。

大ナゴヤ大学スタッフでもある現役ママさんのリクエストから立案し、2人のママさんと一緒に考えつくったこの授業。誰でも授業づくりに参加できることを実感しました。子ども目線と親心の詰まった内容で笑顔あふれる一日でした。（授業コーディネーター 森田和美）



名古屋の和菓子名店デビュー
～名物ライター大竹さんと和菓子屋めぐり～

食、まち歩き、歴史・文化

2015.9.12 Sat 15:00～17:45 @ふれあい館円頓寺

名古屋は知る人ぞ知る老舗の和菓子屋さんがたくさんあります。ちょっと敷居の高いイメージのある和菓子屋さんを、名古屋の名物ライター大竹敏之さんとめぐる授業。行ってみたいと思っていた老舗の裏側を見せてもらい、たくさんお買い物もして。名古屋の和菓子文化をワイワイみんなで楽しむまち歩きができました。

大ナゴヤ大学6周年の授業のリクエストをしたはずが、「授業コーディネーターやってみたい?」と言われ、初めて授業をつくることに。ライター大竹さんに先生を依頼する時から終始緊張しっぱなし。でもいい経験になりました。（授業コーディネーター 前田智絵）



ブドウ畑でピクニック
～おいしく学ぼう!ブドウのこと～

くらし、食

2015.9.27 Sun 13:00～15:00 @葡萄のふくおか 赤池畑

秋の味覚のブドウを、畑に行って農家さんに話を聞きながら、味わい尽くそうという美味しい授業。親子連れ、ご夫婦など様々な生徒さんが集まりました。ブドウ農園3代目の福岡英憲さんにお話を伺いながら、手塩にかけたブドウをいただきます。生徒さんは「ブドウに合う食材」を持ち寄り、みんなで新しい味わい方も研究しました。

この授業は、「食べ物が作られる現場のこと、生産者のことをもっと知りたい!」という欲求から企画しました。もともと知り合いだった福岡さんの生産者としての顔を知ることができて、ブドウ愛もますます深まりました♡（授業コーディネーター 萩原紘子）



神に捧げて700年。初めての花祭。
～花祭実演と囃子体験で楽しく学ぼう～

くらし、歴史・文化

2015.10.10 Sat 13:00～18:00 @花祭会館

愛知県東栄町の山村地域で700年以上続く「花祭」、国の重要無形民俗文化財に指定されています。「て～ほへ、てほへ」のかけ声とともに、一晩中人々が歌い踊る奥三河の名物行事を体験する授業。花祭りに行くきっかけを探していたという生徒もたくさん。地元の方から歴史や特色を学び、実演では皆が一体となって大盛り上がりしました。

敷居が高いと思われがちな「花祭」ですが、文化財である前に人から人へ繋いできた村の自慢の祭りだということを感じてもらいたかったです。地元の人達と話したり踊ったりすることで祭りを身近に感じてもらえる場をつくりました。（授業コーディネーター 加藤幹泰）



しもやま里山ホームステイ
～憧れの田舎暮らし1泊2日～

くらし、まちづくり、コミュニケーション

2015.12.5 Sat 8:30～12.6 Sun 14:30 @下山交流館

名古屋から車で60分の里山にホームステイしよう。自然豊かな豊田市下山で、1泊2日の里山暮らしを体験しました。体験内容はホームステイ先によって様々。生徒さんたちは、各々のホストファミリーのお宅で、田おこししたり、酒蔵のお手伝いをしたり、炭づくりを教わったり…。初めての里山体験の中で素敵なお縁が生まれました。

移住というよりも、里帰りするような気持ちで「ただいま」と言える場所を増やせたらいいな。知っている人が、住んでいる町が、自分の好きな場所になる。お互いに気負いなくできればと、始まるの一步を企画しました。（授業コーディネーター 斎藤貴子）



イスラームを知る
～名古屋モスクから世界を見つめる～

歴史・文化

2016.1.24 Sun 14:00～17:40 @宗教法人 名古屋モスク

社会的な情勢もあり関心の高いイスラーム。でも、日常的に触れる機会も少なくて実はよくわかっていない宗教のこと。この授業では名古屋モスクを教室に、イスラームがどんな宗教なのかを知り正しい理解を得ました。イスラームの教義や文化について詳しく学び、生徒同士感想をシェアし、視野が広がる貴重な時間を過ごしました。

直接に接したことがないと、つい先入観や世間のイメージに飲み込まれてしまう。それならば、接する機会をつくれればいい、と思い企画しました。授業をきっかけに「小さな偏見の芽」がなくなっていけば、うれしいです^^（授業コーディネーター 井上麻衣）



INTERVIEW

大ナゴヤ大学に関わる人々は、
面白い活動や取り組みをしている人がたくさん。
皆さん、自分が興味のあることを見つけ出し
切り拓いて行くチカラを持っています。
今回は5人にスポットを当てインタビュー！
大ナゴヤ大学との関わりから、
どんな活動をしているかなどをお聞きました。

- Q.1 大ナゴヤ大学との関わりは？
- Q.2 今、どんな活動をしていますか？
- Q.3 大ナゴヤ大学での経験が、
今の活動につながっていますか？

INTERVIEW 01



興味が同じ仲間ができて、
新しい活動へ広がっていく。

- A.1 北海道から名古屋に来て、名古屋を知るには地元の人と
出会わねば!と参加しました。授業や様々なプロジェクト
にスタッフとして参加しています。
- A.2 「はたらく課」の「ハタラクデアイ」をきっかけに、出会った
ふたりとその友人たちと「provi」というチームを結成しまし
た。国際交流を当たり前にすることを目標に活動して
います。今は、面白そうなことにどんどん挑戦しようと、大
ナゴヤ大学やこの地域のイベントの企画・運営を、「provi」
のメンバーと一緒にお手伝いさせてもらっています。
- A.3 「授業」には興味の同じ人が集まっています。みんな感覚
が似ていて、職場では出ない話題を気軽に話せる環境が
今の活動につながっています。



(左) 大ナゴヤ大学が関わった移動式レストラン企画でスタッフ参加。(中)「provi」メンバーで野外イベント
スタッフにも参加。(右)大ナゴヤ大学で出会った仲間と男旅。

INTERVIEW 02



誰とでもフラットにつながれるから、
できることも増える。

- A.1 大ナゴヤ大学では、スタッフのほかに、授業コーディネー
ターや広報など気ままに活動しています。知多半島キャン
パスの立ち上げにも関わりました。
- A.2 大ナゴヤ大学でできた人との関係を活かして、「ひとに会
いに行く旅〜知多半島〜」を企画しました。今後も、まち
や人との関係づくりをしていきたいです。
- A.3 大ナゴヤ大学の授業では、世の中のバイアスを取り払っ
てフラットな視点が持てると感じています。普段の生活
ではなかなか接する機会がない人とも、差別や偏見なく
つながれるかもしれない。そんな視点で授業をつくってき
たことで、活動も広がっています。



自身が企画した知多半島の「魅力的な人がいるところ」をめぐるツアー。各地で活躍する面々を集め、みそ・
たまり醤油を作る蔵や、日間賀島などを訪れた。

INTERVIEW 03



まちづくりが自分ごとになって、
家族で地元を楽しめるようになった。

- A.1 円頓寺の授業に家族で初めて参加した時に、ボラスタさん
がとても楽しそうに興味を持ちました。今は、ボラスタのほ
か、「はたらく課」のイベント企画や当日スタッフも行ってい
ます。今年は授業コーディネーターにも挑戦したい！
- A.2 今年の4月から「大ナゴヤ大学以外でも、地元のまちづく
りに関わりたい」と思い、まちを支えるNPO法人の課題解
決と一緒に考え、取り組む活動を始めました。最近は、妻
や子どもと一緒に大ナゴヤ大学のイベントに参加するよ
うにもなり、家族でまちを楽しむきっかけをもらいました。
- A.3 大ナゴヤ大学に関わって、街づくりに一生懸命取り組む
人たちがたくさんいることを知って、名古屋をよくすること
が以前より自分事になりました。これからも家族と一緒に
関わっていききたいです。



(左)「はたらく課」のミーティングの様子。様々な世代、仕事、立場の人が集って活動。(右)大ナゴヤ大学
の正月のイベントで、子どもと一緒に餅つきを体験。

MESSAGE | 大ナゴヤ大学を身近で応援してくださっている方からメッセージをご紹介します

田尾大介さん 株式会社ツーリズムデザイナーズ 代表

大ナゴヤ大学の活動は名古屋の新しい観光に繋がっていると思います。
県外、海外の観光客からは地元の人達が楽しんでいるところに行きたいとよく聞かれます。観光ガ
イド本には掲載されていない、大ナゴヤ大学の皆さんがこれまで見つけてこられた「ナゴヤの魅力」は
将来の観光に繋がっていくのだと思います。
もう一つ大ナゴヤ大学の皆さんに期待していることは、「つくる力」です。歴史や文化の深堀も大事
ですが、これからの街を面白くするには新しいものをつくることも同じくらい大事だと感じています。
新しいものは活動でも場所でも何でもいいと思います。これからの名古屋、明日をつくる力を大ナ
ゴヤ大学の皆さんには期待したいです。



秋田有加里さん 愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター 職員

多くの学生達が、大ナゴヤ大学に入学させていただいております。「学生」「ボラスタ」「プチ授業
コーディネーター」とさまざまな関わりで参加する学生達。どの学生からも聞こえてくる声は、「ナゴヤ
をもっと好きになりました」「スゴイ大人がたくさんいるのに驚きました」「自分の企画で人やまちが
喜んでくれるのが嬉しいです」。
自分で動き、周りを巻き込み、まちを創っていく感動を得た学生達は、社会人になってもやっぱり
まちを創り続ける人であり続けます。
大ナゴヤ大学で、働きながらキラキラと活動する大人たちを目の当たりにして、自分達もそんな大人
の仲間となっていくのでしょうか。大ナゴヤ大学に卒業はありません。どこまでも自分達らしいまちづくり。
みんなが住みたくなるまちづくり。そんな人材を育成してくれる大ナゴヤ大学をこれからも応援します。



INTERVIEW 04



「まちを知る面白さ」 「まちを盛り上げる楽しさ」を味わって。

- A.1** 家と職場を往復する毎日に変化がはしくて、大須のまち歩きプログラムに参加したのがきっかけです。
- A.2** 東海市芸術劇場の市民スタッフを始めました。お客さまのご案内や、より多くの方に来ていただくためのイベント企画・広報活動をしています。
- A.3** もっと名古屋や地元の魅力を知りたい、まちを盛り上げる側に回りたいと思うようになりました。以前は全く読まなかった市の広報誌にも目を通すようになり、そこで劇場スタッフの募集を知りました。もともと自分から何かに応募するようなタイプではなかったのですが、大ナゴヤ大学に育ててもらったなと感じています。



(左) 東海市芸術劇場の市民スタッフ活動。(右) イベントで使用したイニシャルをデザインした市民スタッフのロゼットづくりも。

INTERVIEW 05



まちをクリエイティブで変える。 きっかけは大ナゴヤ大学での挑戦。

- A.1** 「日本仕事百貨」で大ナゴヤ大学のプロジェクトの求人を見て、応募したのがきっかけです。プロジェクトでは、ブログでの情報発信を行っていました。
- A.2** 今は市役所職員としてポスターやロゴのデザイン、個人でも地域のPR動画やフリーペーパーの制作などの活動を積極的に行うようになりました。
- A.3** 大ナゴヤ大学のプロジェクトの中で、円頓寺エリアの声や音を使ったまち歩き「音歩き」の企画と音声編集をしました。「無理だろう」と思っていた挑戦ができて、自信を持てたことが今にもつながっています。



(右左) 市役所の業務で制作したロゴが街頭フラッグに。(左) 市役所の採用に関してのポスターをデザイン。(右) 大ナゴヤ大学のプロジェクトで初めて企画・制作した「音歩き」

MESSAGE

古橋敬一さん 港まちづくり協議会 事務局次長

そのマチならではの特色をテーマに、誰もが楽しめる授業をデザインするのが、大ナゴヤ大学の優れた特徴の一つ。でも、マチを楽しむコンテンツが溢れていても、それを楽しみ、面白がる人が増えなければ、マチはいつまでたってもワクワクが漂うような素敵な場所にはならないでしょう。

大ナゴヤ大学のすごいところは、マチを楽しむためのコンテンツだけでなく、それを通してマチを面白がる人さえもつくり出そうとしていること。これだけは、大ナゴヤ大学にしかできないなあと思うのです。もちろん、人を育てるなんて簡単なことじゃない。でも、嬉々として大ナゴヤ大学を支えるボラスタさんたちの姿を見ると、それでも人はやっぱり育っていくんだよねあ～と思うのです。頑張ろうね！港まちも負けねえぞ！



キャンパスライフ



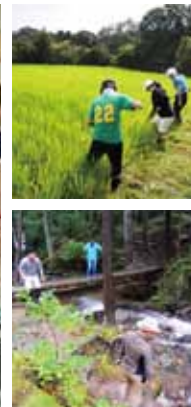
食ゼミ

大ナゴヤ大学通常講座「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒からの声により2010年3月に食ゼミが結成されました。現在ゼミ生の登録はおよそ150名、農業・調理・社会見学など各自興味のある分野で活動しています。今年度は「大ナゴヤキッチン」の開催が50回を越えました。新たなメンバーが担当を経験し、さらなる活動の展開をみせています。お店での「キッチン」や酒蔵めぐり、農家訪問も継続して活動できました。今期から自宅での栽培にも挑戦しました。ゼミも7年目を迎え、メンバーが楽しむことを第一に様々な取り組みをしています。

食ゼミを通して、農家訪問から野菜の栽培、工場見学やお店の方の話を聞くなど、一人ではできないことを数多く体験できました。ゼミ内はゆるく、でも活動はしっかりと！誰でも気軽に参加できるゼミです。(食ゼミリーダー 秦 理恵さん)



<http://dnu.jp/syokusemi/index.html>



はたらく課

合い言葉は、「そんな“はたらく”との出会い」。はたらく課は、身近な人の“はたらく”を知り、自分の“はたらく”を見つけるきっかけづくりをしています。出会いから、新たな気づきや活動につながるが私たちの思いです。2015年度は、大ナゴヤ大学の授業を4つ、ナゴヤで活躍する4人の方にインタビューを実施。また新たに、「しごとバー@名古屋」、「はたらくスクール」、「はたらくマガジン」を立ち上げました。今後も、より多くの“はたらく”との出会いを提供できるようにしていきたいです。

はたらく課の活動は、メンバーの“やりたい”から始まります。“やりたい”を知ると、自分も何かを“やりたい”と思う。“やりたい”を決めると、大変だけど“できる”。“やりたい”こと“できる”ことが広がります。(はたらく課メンバー 若尾和義)



<http://dnu.jp/hatarakuka/>
●定例ミーティング：毎月第1水曜日



地球の生物部

私たち「地球の生物部」は、街の一角にある植栽スペースを名古屋市中からお借りし、毎月1回、朝8時から1時間ほどで花を植えたり、雑草を抜いたり、水やりをしたりと植物のお世話をしています。また、お仕事前に参加する人達が多いので、名刺交換ではなく、植物を通したコミュニケーションを朝から楽しんでいます。私たちが植物を世話している庭は公共空間です。行政が管理する場所ですが、自分達の手で楽しく植物の世話をしたいという人達と活動することで、街で身近に自然を感じ、自分のまちにも関心をもってもらうきっかけの場をつくっています。

普段の生活で自然に触れる機会が少ないので、庭のお手入れに参加できて嬉しいです。職場の近くなので通りがかった時に、自分達で植えたお花がキレイに咲いているとホッとした気持ちになります。これからも続けていきたいです。(生物部メンバー カフェ出動前に活動する 西野早紀さん)



- 生物庭手入れ：毎月第1水曜日 8:00～9:00 頃(参加自由)
- 生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近



大ナゴヤ大学サポーター

7年目の大ナゴヤ大学の活動は、「みんなでつくる」、「継続」をテーマに掲げ、持続可能なモデルにするために運営体制を見直しました。

そのひとつの取り組みとして、活動の運営費用を「授業料」と「寄付」で成り立つ仕組みづくりを目指しています。

2015年度は、「みんなで達成しよう サポーター PROJECT」を実施するなど、サポーターを増やす取り組みを強化しました。

その結果、「月額・年額サポーター」が58名、「ワンタイムサポーター」が17名増加し、受取会費が638,198円(2014年度：40,497円)と、大幅に増加しました。

	2014年度	2015年度
月額・年額サポーター	7名	65名
ワンタイムサポーター	5名	22名
受取会費	40,497円	638,198円

「みんなで達成しよう サポーター PROJECT」とは

「みんなで達成しよう サポーター PROJECT」は、大ナゴヤ大学が立ち上げたファンドレイジング（資金調達）活動です。初めての試みで2015年10月1日～12月31日の期間に実施しました。プロジェクトの考え、想いを伝えるためにつくった特設サイトを活用するほか、周年イベントの集会で説明するなど、サポーター募集を積極的に行いました。

- 期 間：2015年10月1日～2015年12月31日
- 特設サイト：<http://dnu.jp/supporterpj/>

キャンペーン期間以外でも、引き続きサポーターも募集しております。大ナゴヤ大学のホームページ、または、特設サイトをご覧ください。



特設サイトページイメージ



ホームページの「サポーター募集」ページにて、「サポーター PROJECT」に参加して頂いた方の「私がサポーターになった理由」をご紹介します。ぜひご覧ください。



自分の人生を豊かにしてくれる大ナゴヤ大学の取組みは「ジブンゴト」。寄付するというよりは自己投資するって感覚。



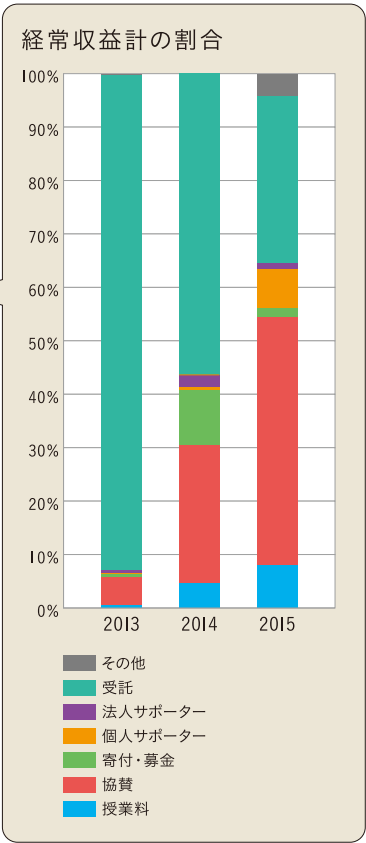
自分にとって大事な場所。関わる人が主体的に維持する場づくりというチャレンジが、単純にすごいし、面白い。

大ナゴヤ大学 [私がサポーターになった理由](http://dai-nagoya.univnet.jp/support/comment/) <http://dai-nagoya.univnet.jp/support/comment/>

活動報告

活動計算書（会計期間：4/1～3/31）（単位：円）

		2013年度	2014年度	2015年度
経常収益	①受取会費	265,000	240,497	738,198
	②受取寄付金	234,584	818,595	149,794
	③事業収益	39,934,068	7,013,976	7,459,082
	④その他収益	213,322	3,846	378,120
経常収益計		40,646,974	8,076,914	8,725,194
経常費用	①事業費	35,855,185	4,520,587	5,852,844
	②管理費	4,090,109	3,329,942	3,572,512
経常費用計		39,945,294	7,850,529	9,425,356
当期経常増減額		701,680	226,385	▲700,162
法人税等		0	94,600	68,500
当期正味財産増加額		701,680	131,785	▲768,662
前期繰越正味財産額		2,922,862	3,624,542	3,756,327
次期繰越正味財産額		3,624,542	3,756,327	2,987,665



2015年度の経常収益は8,725千円、経常費用は9,425千円でした。人件費、外注費などの増加もあり、当期経常増減額は▲700千円の赤字となりました。他方で、サポーターPROJECTの実施により、月額・年額サポーターの数が増え(58名増)、安定した収益となる受取会費は大幅に増加しました。2016年度も引き続きサポーターPROJECTを行い、安定した財務基盤を形成し、有給職員による事務局運営を目指していきます。

メディア掲載

- | | | |
|-------------|----------|--|
| 2015年4月10日 | 名駅経済新聞 | 「能」の語やすり足を体験できる「授業」ボランティアメンバーが参画 |
| 2015年5月19日 | 名駅経済新聞 | 古紙段ボールで「理想の街」作りイベント 身近なエコを学ぶきっかけに |
| 2015年7月7日 | 名駅経済新聞 | 円頓寺で浦風親方招き、「相撲」テーマのトークイベント アート作品展示も |
| 2015年7月12日 | LIVERARY | 国技とアートの融合「お相撲展 名古屋場所」開催。遠山敦、てんしんくんの作品を展示。 |
| 2015年8月31日 | サカエ経済新聞 | 「大ナゴヤ大学」が6周年 街中をキャンパスに特別10講座開講 |
| 2015年9月5日 | サカエ経済新聞 | 仕事について話し合うイベント「しごとバー」名古屋初開催、名古屋テレビ塔で |
| 2015年9月9日 | サカエ経済新聞 | 名古屋・鶴舞のカフェで少女漫画講座 魔法少女の歴史と魅力紹介 |
| 2015年9月12日 | LIVERARY | “ナゴヤを面白がる”をテーマとする、大ナゴヤ大学が6周年。 |
| 2015年9月22日 | 中日新聞朝刊 | 街をキャンパスに6年 |
| 2015年10月24日 | LIVERARY | 名古屋＝デザイン都市?「ユネスコ・デザイン都市なごやを考える1日」を大ナゴヤ大学が開講。 |
| 2015年10月9日 | 名駅経済新聞 | 名駅のお菓子のり店、栄のマーケットイベントに出店 |
| 2015年11月4日 | サカエ経済新聞 | 栄で「田舎暮らし」について考える 大ナゴヤ大学がワークショップ |
| 2015年11月14日 | LIVERARY | 大ナゴヤ大学による授業「アーバンバーマカルチャー ～都会から始める、持続可能な暮らし～」 |
| 2015年12月5日 | LIVERARY | あなたも里山に暮らす家族の一員になれる!?「しもやま里山ホームステイ」が開講。 |
| 2015年12月6日 | 名駅経済新聞 | 名駅近くのカフェで「国際協力」テーマのイベント 地元NPOが企画 |
| 2016年1月26日 | 名駅経済新聞 | 名駅で地方移住を考えるセミナー 講師に岐阜・恵那ローカルメディアの編集長 |
| 2016年1月27日 | LIVERARY | トークイベント「コーヒーで物語リナイト」しごとバー@名古屋、開催。 |
| 2016年3月1日 | ソトコト3月号 | 人を巻き込む地域のプロジェクト |



2015年9月22日 中日新聞朝刊



2016年3月1日 ソトコト3月号

大ナゴヤ大学を一緒に作り続けましょう！

学生

授業に参加する

街じゅうをキャンパスに、さまざまなテーマで授業を開催しています。
興味を持ったまずはホームページから学生登録を！誰でも学生になれます。

ボラスタ

授業やイベントを手伝う

会場設営や授業の受付、レポート、記録、学生さんとのコミュニケーションなど。
お手伝いをしていただけるボランティアスタッフを募集しています。仲間になりましょう！

授業 コーディネーター

授業をつくる

ナゴヤの「面白い!」を発掘し、「授業」としてコーディネート。
「ナゴヤって面白い街なんだ」と、思ってもらえるきっかけをつくる仕掛人です。

サポーター

寄付でサポートする

いただいた寄付金は、活動を続けていくため、事務局・講座の運営等に充てさせていただきます。
大ナゴヤ大学のコンセプトにご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。

ゼミ・課・部

キャンパスライフを楽しむ

学生のみなさんの自発的なコミュニティであるゼミ・課・部活動への参加も募集しています。
キャンパスライフでの活動も楽しみましょう！

法人会員 ・ 授業協賛

コラボする

企業・団体・店舗・個人・行政などと、コラボ授業や商品開発等。
力を合わせてナゴヤを面白いがるヒト、モノ、コト作りを一緒に作っていきたいと考えています。

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク
〒460-0011 名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201 (事務局所在地)
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp

<http://dai-nagoya.univnet.jp/>

